

太平山周辺に山百合を再生させよう！

1 2019年度から「日本の山百合を守る会」の活動開始

宇都宮山の会会員の松本一夫さんが、イノシシの被害などで山百合が少なくなった太平山県立公園に山百合を復活させようとして、2019年度から「日本の山百合を守る会」を立ち上げた。

栃木県勤労者山岳連盟加入団体会員、足尾に緑を育てる会会員、栃木市などの協力を得ながら、2019.11.10に大曲駐車場法面や太平山神社境内鉄筋網囲い内に山百合を植えた。



大曲駐車場法面や太平山神社境内鉄筋網囲い内の山百合の春の芽出しは、順調だった。

大曲駐車場法面の植栽場所を囲う予定にしていたが、地主の了解が得られず、囲いが設置で



2 山百合移植地の2020年度の開花状況

2019.11.10の山百合植栽は、大曲駐車場の法面に30個、太平山神社境内鉄筋網囲い内に25個の計55個植えた。



きなかった。

山百合が成長するにつれて、イノシシの被害や盗掘などにより大曲駐車場法面の山百合の数が減少していき、開花したのは数本になってしまった。

一方、太平山神社境内鉄筋網囲い内の山百合は被害に遭うことなく順調に生育し、多くの花が咲いていた。

3 2020年度の「日本の山百合を守る会」の活動

太平山の大曲駐車場法面やその付近に植栽しても、地主の了解が得られず囲いを設置することができないため、栃木市の協力を得て新たな山百合の植栽地を探すことにした。

文責：渡辺正夫